



動物循環器病学会における、学会誌『Journal of Veterinary Cardiovascular Medicine (以下「JVCVM」という。)』は、心血管疾患、腎疾患、呼吸器疾患への理解を深め、動物の健康と福祉を向上させる研究や臨床実践を含む、質の高い査読済みの論文を出版するものとする。

## 1. 目的

本誌は前向きおよび回顧的研究、臨床試験、疫学、観察研究、介入画像、心臓血管技術、症例報告、総説、ならびに動物における応用研究の進歩を含む、心臓病、腎臓病、呼吸器病の領域を網羅する独創的な知見を含んだ論文を掲載する。

科学的調査に加えて、臨床症例の提示、また、それらの技術・分析の説明、および基礎知識の臨床への応用を試みる臨床・研究成果を通して、獣医心臓学、腎臓学、および呼吸器学を進歩させる論文も掲載する。

JVCVMの特徴は、マルチメディアとグラフィックファイルの統合であり、臨床手順、診断、および技術の詳細を可能にするビデオおよびサウンドファイルを受け付ける。

## 2. 倫理方針

JVCVMに投稿される論文(以下「投稿論文」という)は、いかなる雑誌・書籍に投稿された、あるいは投稿中でないものに限られる(抽象的な形式、または講演・学会発表の一部として公表されたものを除く)。

研究論文においては統計的評価を実施する必要がある。

## 3. 動物倫理

- 1) 投稿論文には、飼育動物とその使用を管轄する委員会の承認を得たことを明記していなければならない。
- 2) 国または機関のガイドラインが存在しない場合、動物倫理に準拠した処置のために必要な国際ガイドライン(例: 国立衛生研究所(NIH)またはユーロガイド)に則っていることを示す必要がある。
- 3) 飼い主が所有する動物を用いた研究では、獣医師による最高基準の処置が実施されていなければならない。また、飼い主の同意を得ていることを明記されていなければならない。

## 4. 利益相反

- 1) 原稿本文の最後には、利益相反の声明を明記していなければならない(無い場合の例: 本論文において開示すべき利益相反はない)。
- 2) 著者は、投稿論文に不適切な影響を与える可能性のある人や組織と金銭的または個人的な関係があるかどうかを開示しなければならない。
- 3) 著者らは、利益相反のタイプを理解することを助けるため、米国心臓協会(AHA)または国際医学雑誌編集委員会(以下「ICMJE」という。)が作成した利益相反に関する声明を参照することが奨励される。
- 4) JVCVMの編集者は、利益相反についての情報を編集委員会に報告・共有する。

## 5. 論文著者

- 1) 著者の取扱いについては、ICMJEのガイドライン(該当HPのURL <http://www.icmje.org>)に従うものとする。
- 2) 著者は、アイデア、概念またはデザインの研究、データの取得、またはデータの分析および解釈に多大な貢献をしていた者とする。
- 3) 著者は、原稿の作成と改訂に関与していなければならず、その原稿の最終版を承認していなければならない。
- 4) 著者は、倫理方針、動物の倫理的扱い、および利益相反に関して、すべての共著者に対して責任を負うものとする。

## 6. 論文の査読

- 1) 編集委員会は、JVCVMの科学的内容、独創性、適合性について原稿を評価する。



- 2) 編集委員会が適切と判断する原稿は査読審査を受ける。また、査読委員は、査読審査を開始する前に、利益相反について開示しなければならない。
- 3) 査読についてのルールは、動物循環器病学会査読規程に別途定めるものとする。

## 7. 原稿執筆のルール

- 1) 研究投稿論文は、次ぎ掲げる事項に準拠していなければならない。

### (1) 論文書式

- ・日本語の場合はMS明朝、英語の場合はTimes New Romanをサイズ12 pointで使用する。
- ・2.5 cm (1 インチ) の余白を入れて行間は2行でスペースを入れる。
- ・テキストは単一列形式で記述する。「グラフィカルに設計された」式を埋め込むのではなく、Microsoft Wordを使用してこれらの方程式を記述する。
- ・ページ番号は、中央下部に記載する。タイトルページの先頭から連続した行番号を使用する。Microsoft Wordの原稿と表をフォーマットする。
- ・使用するプログラムの拡張子を使用してファイルを保存する。

### (2) タイトルページ

最初のページには、原稿のタイトル（略語は含まない）、著者名、所属、Running headを記述する。著者のリストに続いて、実際の作業が行われた時点での著者提携の住所を記載する。作成者が異なる部署または機関の出身である場合は、著者名の直後に、小文字の上付き文字をすべての提携先に、適切な住所の前に付ける。住所の記載は、日本語では都道府県から、英語では国名を含む住所とする。

責任著者：査読、出版および出版後のすべての段階で連絡をする作者の名前と電子メールアドレスを記載する。ページの下部にある最初の著者または対応する著者の現在のアドレス（異なる場合）のみを示す。脚注を使用しない。

### (3) 謝辞

研究支援のすべての情報源を指定し、有意義な貢献をした個人をすべて列挙する。

### (4) 要約

タイトルページに続く別のシートに要約とキーワードを含める。概要については、該当する原稿カテゴリの具体的な手順を参照する。

日本語の論文の場合は、英語のAbstractを250 words以内で追記する。

### (5) キーワード

原稿のタイトルにない3~5個のキーワード（略語は使用しない）を入力する。

### (6) 略語表

著者は、読みやすいように略語を必要な数に制限することが推奨されている。略語で文章を始めない。略語は、原稿に3回以上出現する場合にのみ使用し、3つ以上の略語を使用する場合は、略語表を含める。著者らは、JVCVMによって確立された心エコーパラメータ（リンク）の標準略語を使用すべきである。略語表には、左欄にアルファベット順の略語（左詰め）と右欄（左詰め）の略語の定義を含める必要がある。定義は適切な名詞でない限り、小文字で始まる必要がある。

### (7) 脚注

脚注は控えめに使用する。小文字の上付き文字をテキストの中に現れる順に引用する。本文の最後にアルファベット順にリストした脚注を記載する。製品や機器については、製造元の名前と所在地（国、都市名など）を含めた情報を記入する。ジェネリック医薬品には脚注は必要ない。抄録や個人間の資料も脚注として引用することが望ましい。

### (8) 引用文献



[ ]大括弧で囲まれた数字は、原稿に記載されている順番でテキストに沿って表示する（スミス法）。引用された文献は、元の文書と比較して著者によって検証されなければならない。テキストに引用されているすべての引用文献が引用文献リストにも存在することを確認する（逆も同様）。公表されていない観察、個人的な資料、要約、まだ受理されていない投稿論文は、脚注として含めるべきである。

以下のフォーマットガイドラインに従うこと。

#### ・雑誌の引用例

[1] Santilli RA, Spadacini G, Moretti P, Perego M, Perini A, Tarducci A, Crosara S, Salerno-Uriarte JA. Radiofrequency catheter ablation of concealed accessory pathways in two dogs with symptomatic atrioventricular reciprocating tachycardia. *J Vet Cardiol* 2006;8:157-65.

#### ・書籍の引用例

[1] Sisson D. Medical management of refractory congestive heart failure in dogs. In: Bonagura JD, editor. *Kirk's Current Veterinary Therapy XIII*. Philadelphia: WB Saunders; 2000, p. 752-6.

#### ・データ引用

このジャーナルは、引用文献リストに画像データ引用を含めることで、原稿中の根本的または関連するデータセットを引用することを推奨する。データ引用には、著者名、データセットタイトル、データリポジトリ、バージョン（使用可能な場合）、年、グローバル永続識別子の要素を含める必要がある。引用の直前に [dataset] を追加して、データ引用として適切に識別できるようにすること。この識別子は、公開された記事には表示されない。

#### 引用スタイル

Oguro M, Imahiro S, Saito S, Nakashizuka T. Mortality data for Japanese oak wilt disease and surrounding forest compositions, Mendeley Data, v1; 2015. <http://dx.doi.org/10.17632/xwj98nb39r.1>.

## (9) 表

表のデータは、テキストを補完するものでなければならない。テキスト中に提示されたデータは、表に再度提示せず、逆もまた同様に留意すること。引用文献の後に別のページに表を置く。表は Microsoft Word を使用して作成すること。Excel で作成された表は受け付けない。表内のフォントは ヒラギノ丸ゴシック（少なくとも 8 ポイント）を使用する。各列見出しの下にすべてのデータを配置する。表で使用されるすべての略語は、表の凡例に定義する必要がある。テキストの出現順に合わせて表を連続して番号付けをする。

## (10) 図表

図表は、出版物の基準を満たすために高品質でなければならない。各図は別々のファイルとして提供する必要がある。テキストの出現順に応じて数字を連続して入力する。許容できる図形式は次のとおりである。

- ・ TIFF：カラーまたはグレースケールの写真（ハーフトーン）：最低 300 dpi を使用する。
- ・ TIFF：ビットマップ線画：最低 1000 dpi を使用する。
- ・ TIFF：ビットマップされたライン/ハーフトーンの組み合わせ（カラーまたはグレースケール）：最低 500 dpi を使用する。
- ・ テキストとグラフィックスを別々のレイヤーに保存する。
- ・ テキストが含まれている場合はヒラギノ丸ゴシック（少なくとも 10 ポイント）を使用する。
- ・ 図のキャプションは、原稿の最後の別のページに添付する。キャプションには、簡単なタイトルと、その後の図の説明を含むこと。すべての記号および略語は、図の凡例に定義すること。

## (11) 補足資料

補足資料は、著者に背景データセット、高解像度画像、動画、アニメーションシーケンス、サウンドクリップなどを公開することができる。この補足資料は、JVCVM の Web サイトで電子ジャーナルとともに公開される。

## (12) 表と図

印刷する形にすることが重要でない著者のデータは、表示される順番で大文字（例えば、A、B、C）を使用して本文内に識別される補足表として提示する。

補足図は、図の場合と同じ書式のガイドラインに従い、本文に表示される順序でローマ数字（I、II、III な



ど)で識別される。原稿の文章では、括弧で囲んで、図をオンライン版で利用可能であると(例えば、補足資料のオンラインで入手可能な図表)記述する。

(13) ビデオとサウンドファイル

- ・動画は高品質で、.mov または.avi 形式で提出する。
- ・サウンドファイルは、.wav または.mp3 形式で提出する。
- ・ビデオおよび/またはサウンドのタイトルを提出する。
- ・テキストに表示されているようにビデオまたはサウンドに連続して番号を付ける。

(14) 書式、日本語または英語の文法や構成に問題がある場合は、査読審査前に著者に返却する。英語の原稿においては英文校閲サービスを勧めることがある。

(15) 品質の低い画像やイラストを受け付けない。画像やイラストが原稿にとって重要である場合は原稿を受理しない理由となることがある。

(16) 心機能、血管機能、腎臓機能、呼吸器機能における基礎研究および臨床研究および症例報告を含む原稿を掲載する。

(17) 臨床試験、観察研究、および関連研究を行っている著者は、STREGA、STROBE、STARD、CONSORT、およびPRISMAを含む調査のガイドラインを参照することが奨励されている。

(18) 基礎研究および臨床研究には、少なくとも6頭の動物が含まれていなければならない。また、動物の品種、または種に特異的な画像検査、心電図検査および生化学データを確立する研究も含まれる。

8. 論文の区分および構成

1) 原稿は15000文字(英語:5000語)を超えてはならない(文献、表、または図の凡例を除く)。原稿は50の引用文献を超えてはならない。

2) 基礎研究および臨床研究

基礎研究および臨床研究の原稿には、序論(Introduction)、材料と方法(Materials and Methods)、結果(Results)、考察(Discussion)、結論(Conclusion)で構成され、次ぎ掲げる事項に準拠していなければならない。

(1) 要約(Abstract): 目的、動物、方法、結果、および結論の見出しを含む要約を記述する。要約は1000文字(英語:250語)を超えてはならない。

(2) 序論(Introduction): はじめに、関連する文献の概要、仮説の明確な記述、研究目的を引用して、研究の背景と理由を簡潔かつ簡潔に説明する。Introductionは、文献の網羅的なレビューではない。

(3) 材料と方法(Materials and Methods): このセクションでは、除外および包含基準(統計データはここで報告するのではなく、結果セクションに記載すること)、手技、実験のおよび統計的方法を含めて、研究内容の簡潔な説明を提供する

(4) 結果(Results): 研究の結果を簡潔に記述する。テキストの本文またはグラフ、表、または図の中にデータを表示するが、両方への重複事項は表示しない。著者が大きな表、複数の表や図形がある場合は、これらをオンライン表示用の補助データとして含めることを推奨する。

(5) 考察(Discussion): 調査の結果から始まる調査の簡潔な議論を記述する。新知見の重要な意味、これらの観察が他の関連する研究とどのように関連しているか、文献との関連性を強調する。また、研究の補足部分(Limitation)についても記述する。余りにも長い考察は避ける。

(6) 結論(Conclusion): 調査の主な結論を簡単に要約する。

3) 総説

総説は、特定の分野やテーマに関する先行研究を集め、体系立ててまとめることで、その分野やテーマの概説や研究動向、展望を示すことを目的とする。その分野やテーマ全体の概要を知る事が出来るものと



する。原稿は 8000 文字(英語:2500 語)を超えてはならず(図表、表および引用文献を除く)、1000 文字(英語:250 語)未満の抄録を含めることとする。典型的な原稿は 25 の引用文献を超えない。

#### 4) 心臓血管のテクニックの紹介

心臓血管のテクニックの紹介の原稿は、心臓血管手術の実施または分析における豊富な経験を有する人のための道を提供することである。原稿には、手順や生成されたデータの画像やビデオを含めることとする。原稿は 8000 文字(英語:2500 語)を超えてはならず(図表、表および引用文献を除く)、1000 文字(英語:250 語)未満の抄録を含めることとする。典型的な原稿は 25 の引用文献を超えない。著者が大きな表、複数の表や図形がある場合は、これらをオンライン表示用の補助データとして含めることを推奨する。

#### 5) 心臓血管画像

画像が臨床医学についての情報を提供するならば、このセクションの原稿は出版物として考慮する。高品質の静止画像またはビデオ画像のみが対象となる。画像は、心電図( ECG)、心エコー図電気生理学的検査、磁気共鳴画像法( MRI)、コンピュータ断層撮影( CT)、放射線写真、病理学、またはその他のものが受付対象となる。考察は、イメージとその意味の評価に焦点を当てること。原稿は 6000 文字(英語:1500 語)を超えてはならず(図表、表および引用文献を除く)、1000 文字(英語:250 語)未満の要約を含める必要がある。典型的な原稿は 10 の引用文献を超えない。印刷バージョンに含めるが重要ではない図がある場合は、これらをオンライン表示用の補足データとして含めることを推奨する。

#### 6) 症例報告

症例報告は、報告されていない情報が含まれている場合、将来の研究につながる十分なメリットがある場合、疾患の理解を広げる場合、またはより効果的な治療法についての洞察を提供する場合に掲載される。5 頭以下の動物を含む症例研究も症例報告として報告すること。原稿は、論文のタイトル、症例の紹介記述から始まり、それに続いて、関連する文献の簡潔なレビューと症例の臨床的考察というセクションで構成すること。診療に関与した施設を記述する。原稿は 8000 文字(英語:2500 語)を超えてはならず(図表、表および引用文献を除く)、1000 文字(英語:250 語)未満の抄録を含める。典型的な原稿は 25 の引用文献を超えない。その他図や表がある場合は、これらをオンライン表示用の補助データとして含めることを推奨する。

#### 7) 診察室レポート

診察室レポートは、日々の診療で遭遇する症例において改めて認識したい情報を提供する場合に掲載される。原稿は、論文のタイトル、症例の紹介記述から始まり、それに続いて、関連する文献の簡潔なレビューと症例の臨床的考察というセクションで構成すること。診療に関与した施設を記述する。原稿は 8000 文字(英語:2500 語)を超えてはならず(図表、表および引用文献を除く)、1000 文字(英語:250 語)未満の抄録を含める。典型的な原稿は 25 の引用文献を超えない。その他図や表がある場合は、これらをオンライン表示用の補助データとして含めることを推奨する。

### 9. 原稿の投稿

JVCVM に投稿された原稿は、著者に原稿と図形ファイルを電子メール( submit@acvms.org )で送付する。著者は、投稿プロセスまたは手順に関する質問は submit@acvms.org に送ることができる。著者は、E メール( submit@acvms.org )により査読の状況を確認することができる。JVCVM による論文の受理時に、著者は論文の著作権を出版者に移譲する。

### 10. オープンアクセス

このジャーナルは、著者に Open Access の公開を提供する。Open Access に公開されたすべての原稿は、制限なくダウンロードできるように、即時かつ永久に無料となる。非営利目的では、他の人が論文を配布したり、作者にクレジットを与えたり、論文を変更したりしない限り、共有することができる。Open Access を提供するために、このジャーナルは税金を除き、無料の出版物とする。

### 11. 原稿受理後

#### 原稿の校正

責任著者と編集委員会は、原稿の PDF 版添付した電子メールを受け取り、修正案に注釈を付ける機会を与えら



れる。この構成指示のやりとりは全て電子メール上で行う。また投稿が決まった論文を、速やか、かつ正確に出版するよう努める。テキスト、表、図形の組版、編集、完全性、正しさをチェックする場合にのみ、校正原稿を使用する。出版のための最終校正原稿への重要な変更は、エディタの許可を得てこの段階でのみ行われる。すべての訂正が1回で行われるようにすること。その後の訂正は認めないため、著者は最終返答前に慎重に確認する。本校正については著者が責任を負うものとする。

責任著者には、電子メールにてPDFファイルが提供され、別刷りは提供しない。

### 12. 事務取扱い

この規程に関する庶務は、学会事務局が処理する。

### 13. 改廃

この規程の改廃は、編集委員会の議を経て承認を得るものとする。

---